

歴史講座 江戸と品川御殿山

日時	令和8年1月24日・2月7日・2月21日・3月7日（土曜日 全4回） 14：00～15：30
会場	講堂
講座内容 （第1回）	「忘れられた霊場—御殿山とその周辺—」 受講者数67名 講師：柘植信行（当館専門委員）
講座内容 （第2回）	「江戸時代の旅と出版」 受講者数58名 講師：佐伯孝弘（清泉女子大学教授）
講座内容 （第3回）	「将軍家、鷹狩に出る—徳川家治・家基・家斉を中心に—」 受講者数62名 講師：富川武史（当館学芸員）
講座内容 （第4回）	「『江戸名所図会』にみる品川・御殿山」 受講者数60名 講師：鈴木章生（当館館長）
延受講者数	247名

〔講座内容〕

令和7年（2025）は、NHK大河ドラマ「べらぼう」の放送により空前の江戸ブームが巻き起こった年であった。品川歴史館では、令和7年度の歴史講座を開館40周年特別展「御殿山」の開催にあわせて実施し、品川だけでなく江戸にとっても重要な位置を占めた御殿山とその周辺の知られざるエピソードを全4回の講座で紹介した。

第1回：埋葬と供養の場であった中世の時代から、江戸時代初期に品川御殿が建立され、桜の名所となるまでの御殿山の歴史を紹介した。

第2回：京都で始まった江戸時代の出版の広がりや葛屋重三郎を含めた江戸の出版について、旅が江戸時代に広まったことも含めて解説した。

第3回：将軍徳川吉宗の御殿山園地開放以降、将軍家治（10代）と家斉（11代）、家治の継嗣で時期将軍だった家基の品川周辺での鷹狩の様子を紹介しつつ、御殿山の名所化へも言及した。

第4回：江戸時代の地誌である「江戸名所図会」から御殿山に関する資料を解説し、当時の御殿山の様子について紹介した。